

基本
目標 1

元気

もっと、県土に活力を

地域間競争が更に激しさを増す中、生産性の高い、活力のあるぐんまの経済活動を支えるための「道路ネットワークの整備」や、本県が取り組む主要プロジェクトの整備を促進する社会資本総合整備を推進します。

政策 1

道路ネットワークの整備

施策 1

「7つの交通軸」の整備・強化

【予算額】16,884,290千円*

政策 2

主要プロジェクト整備の促進

施策 1

主要プロジェクト関連施設整備

【予算額】1,345,990千円*

※施策ごとの予算のため重複する場合があります。

政策 1

道路ネットワークの整備

活力あるぐんまの経済活動を支える高速交通網のストック効果を県内すべての地域や産業の発展に活かすため、広域的な道路ネットワークの整備を推進します。

施策 1

「7つの交通軸」の整備・強化

【予算額】 16,844,290 千円

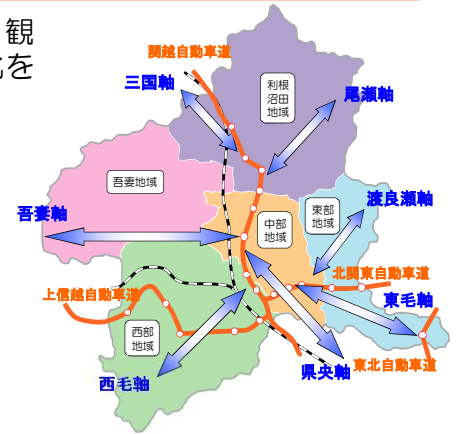
高速交通網の効果を県内すべての地域に行き届けさせ、産業の発展、観光振興などの地域活性化を図るため、「7つの交通軸」の整備・強化を推進します。

(1) 「主軸」の整備

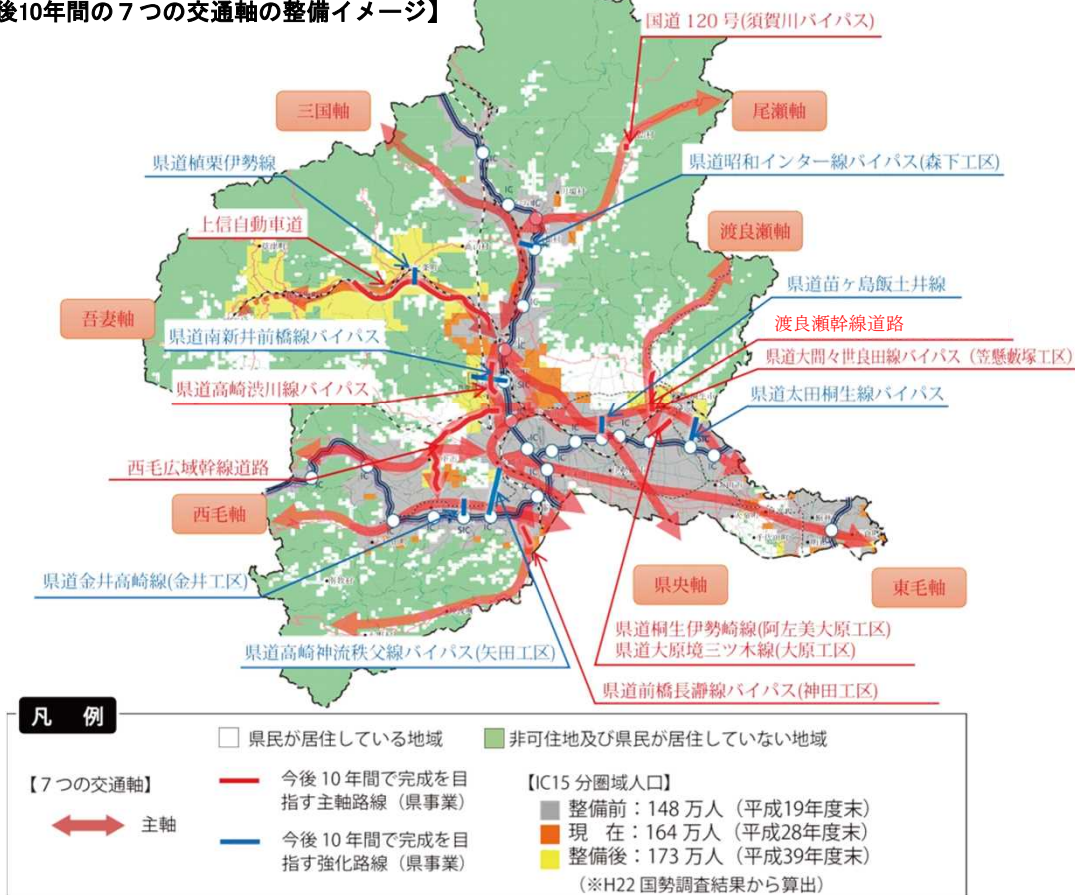
移動時間短縮による地域間連携を促進するため、県内7方向に「主軸」となる広域的な幹線道路を整備します。

(2) 「強化路線」の整備

高速道路ICと「主軸」を結び、更なるアクセス強化を図る「強化路線」を整備します。



【今後10年間の7つの交通軸の整備イメージ】



(3) スマートICの整備促進

既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化、地域の活性化、利便生の向上等を促進するため、市町村とともに新たなスマートICの整備に向けた検討を行います。

(4) 県の経済活動を支える物流拠点の整備と物流ネットワークの形成

新たな企業誘致や更なる産業振興を支援するため、物流拠点の形成に向けた土地利用や、首都直下地震時にバップアップ機能を果たす物流拠点の整備と物流ネットワークの形成に取り組みます。

平成31年度

主要事業の概要

●主軸の整備

渋川・吾妻地域の観光振興や農産物の販路拡大による地場産業の振興、中核的医療施設へのアクセス向上等を図るため、道路整備を推進します。

- ・上信自動車道（渋川市～東吾妻町）

沿線の主要観光地の周遊性向上による観光振興や、物流の効率化による産業振興、広域的な地域間連携の強化による県民生活の利便性向上等を図るため、道路整備を推進します。

- ・西毛広域幹線道路（高崎市～富岡市）

●強化路線の整備

関越自動車道駒寄スマートICと、県道高崎渋川線や防災拠点（陸上自衛隊相馬ヶ原駐屯地）を結び、地域住民の利便性向上や災害時の迅速な救命救助・復旧復興を可能にするため、道路整備を推進します。

- ・県道南新井前橋線バイパス（前橋市～榛東村）

上信自動車道と中之条町の中心市街地を結び、地域住民の利便性向上や、更なる観光・産業振興を図るため、道路整備を推進します。

- ・県道植栗伊勢線（中之条町）

●スマートICの整備促進

甘楽PAスマートIC(仮)の供用開始に向け、アクセス道路（県道金井小幡線）の整備（富岡市）などを推進します。

●県の経済活動を支える物流拠点の整備と物流ネットワークの形成

効率的な物流拠点整備に必要な工場・物流施設を適正に立地誘導するため、都市計画区域マスタープランの改定を進めます。

上信自動車道祖母島～箱島バイパス



進捗状況

西毛広域幹線道路 安中工区



進捗状況

県道南新井前橋線バイパス2期工区



進捗状況

今年度のトピックス

- ・上信自動車道 金井バイパス・川島バイパス・祖母島～箱島バイパス（渋川市～東吾妻町）H31年度事業完成予定

上信自動車道（金井・川島・祖母島～箱島）バイパス整備事業

事業の効果



～整備前～



国道353号 北群馬橋交差点の渋滞状況

◆国道353号では、朝夕の通勤時間帯を中心として、交通混雑が発生しており、移動に時間がかかります。



国道353号斜面崩壊

◆斜面崩壊の発生や地すべり危険箇所が存在し、災害時に通行止めがたびたび発生しています。

現道の状況

～整備後～

◆高速道路に準じた構造の道路が整備されることで、速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。
◆国道353号の危険箇所を回避するとともに、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されます。



完成イメージ

上信自動車道の全線開通で渋川伊香保ICから草津市までの移動時間が約30分短縮（約90分→約60分）

政策2

主要プロジェクト整備の促進

本県の主要プロジェクトである「人・モノ・情報」を呼び込む群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」の整備や、世界遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」などの集客効果を県内の各地域の活性化につなげるため、アクセス道路の整備や無電柱化などの景観整備に取り組みます。

施策1

主要プロジェクト関連施設整備

【予算額】1,345,990千円

(1) Gメッセ群馬関連施設整備

2020年春の「Gメッセ群馬」の施設開所に向け、施設利用者の利便性向上のため、アクセス道路の整備を推進します。

(2) 世界遺産関連施設整備

世界遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」の更なる魅力向上のため、景観に配慮した道路整備を推進します。



平成31年度

主要事業の概要

● Gメッセ群馬の関連道路整備

Gメッセ群馬の施設開所に向け、玄関口となる道路整備を推進します。

- ・ (都) コンベンション施設北口線 (高崎市)

施設開所後における周辺道路の交通渋滞を緩和させるため、道路拡幅を行います。

- ・ (都) 競馬場通り線 (高崎市)

● 世界遺産関連施設整備

富岡製糸場周辺における魅力的なまち並みの形成を図るため、沿道の無電柱化を推進します。

- ・ 県道富岡神流線(仲町通り)電線共同溝整備 (富岡市)



Gメッセ群馬の進捗状況

2020年春オープンの「Gメッセ群馬」って何？



“Gメッセ群馬”は、JR高崎駅から徒歩約15分、関越自動車道高崎玉村スマートインターチェンジからは車で約15分の場所に建設を進めているコンベンション施設です。地域の賑わいを創出する施設であり、展示会やコンサートなども開催できる施設です。

「人・モノ・情報」を呼び込む拠点として、企業のビジネスチャンス拡大や交流人口の増加により、都市力を高め、県内の幅広い産業の活性化や、若者・女性などの雇用の場の創出等の効果が期待されます。



外観イメージ図



大会議室イメージ図



展示ホールイメージ図



展示ホールイメージ図 (音楽イベント)